

令和3年度第2回竹原市地域公共交通会議議事録

日時：令和3年11月25日（木）

14時00分～14時50分

場所：道の駅たけはら2階地域交流スペース

1. 開会

2. 議題

○報告案件 竹原市デマンド交通実証運行の現状について

（事務局から資料に基づき説明）

（質疑応答）

- ・（委員） 吉名地区のデマンド交通実証運行を行う中で、9人以上の利用者の予約が入り「申し訳ないが午後で予約してもらえないか」と予約を午後にしてもらった事例もあり、午前の便の需要が高いように感じる。
- ・（委員） 事前登録者の割合が、吉名地区は1割にとどまっているのに対し、仁賀地区では4割の方が登録しているが、何か理由はあるのか。
- ・（事務局） 前提として、仁賀地区と吉名地区ではお住まいの方の人口数が異なるが、特に仁賀地区においては、仁賀生活改善センターを中心に、現在はデマンド交通に関する需要の低い方に対しても、積極的に登録を促す声掛けができたことで、登録者が増えたと考えている。
- ・（委員） 事前登録をしている方の中、実際にデマンド交通を利用している方がどの程度なのか。
- ・（事務局） 事前登録者数の内、実際に利用されている方がどの程度かという部分について、詳細なヒアリング調査ができていない。今後アンケート等を実施する予定となっており、その際にデータを取ることができればと考えている。

○協議案件 竹原市デマンド交通実証運行事業の継続について

（事務局から資料に基づき説明）

- ・（委員） 今回の協議案件として提示されている吉名地区の運行ダイヤ案について、現状の2便と3便は利用客が多く問題ないと思われるが、運行日が週2日、火

曜日と土曜日となると、9時発の便と13時発の便に利用者が集中し、断りを入れ、時間をずらすなど、事業者に負担が生じるように感じる。

- ・(事務局) 現状の運行状況を分析すると、1便当たりの乗車人数を全体の平均で見たときに、改善の余地があると考えているため、そのような状況を鑑みた結果、今回運行ダイヤの検討を進めさせていただきたい。
ただし、新型コロナウイルス感染症の影響から、今年度デマンド交通の周知・促進について十分行えなかったことから、令和4年度にはそれらの取組を行った上で、本格運行時には、週3日、1日3便への増便などの見直しが必要になってくると考えている。そうした状況を含めての実証運行ということで、令和4年度の実証運行についてはご理解いただきたい。
- ・(委員) 利用者が多い便では、次の便にまわってもらうなどの事例も発生しており、その点をもう少し検討していただきたい。また、利用者の中には連絡が取りづらい方もいるなど、事業者が努力している実態があることも認識していただきたい。
- ・(事務局) 地区へのヒアリング等を通じて、実証運行業務を誠実に実行しており、事業者には感謝している。キャンセルや利用方法については、改めて地域の方々にご説明をしていきたいと思うので、ご協力のほどをお願いしたい。
- ・(委員) 来年度もデマンド交通実証運行を行うということだが、令和3年度に関しては実証運行ということで、現在芸陽バスの路線バスについては、竹原中央方面から馬場病院の前を通って八代谷までの区間については休止となっている。
来年度も引き続き実証運行ということになると、こちらの路線は休止の扱いになるのか、それとも本格運行を見据えての実証運行という位置付なのか、確認したい。
- ・(会長) 手続き等について、広島運輸支局からいかがか。
- ・(委員) 廃止、休止の手続きには、基本的に6ヶ月前までに届出をしなければならないが、公共交通会議において協議を整えれば、手続きが1ヶ月に短縮となる規定がある。仮にこのスケジュールで廃止をするということであれば、令和4年1月に予定している会議で協議を行う必要がある。路線を廃止してしまうと、復活する手続きが困難になるため、デマンド交通が本格運行へ移行することが前提となり、手続きに関わってくる。
- ・(会長) こちらの件については、事務局で今後の方針を固めた上で、本格運行に向けて問題ないであろうという位置付になった際には、令和4年1月開催予定の会議にて廃止の議題を挙げていただきたい。

- ・(委員) 令和3年度の吉名地区におけるデマンド交通実証運行は、月・火・土曜日だったが、病院に行かれる方のことを考えれば、土曜日よりは平日の金曜日の方が、利用者が多くなるのではないかと思う。
- ・(事務局) 曜日の設定については、実証運行開始前において、週3日、曜日を設定する際に地域の方と話をしており、ご意見などを考慮したうえで、曜日設定をしている。そうした中、現在の利用便の状況等を勘案し、来年度実証運行における曜日設定を検討しているが、アンケートや地域の方との話の中で、時間設定や曜日設定については、変更も検討する。

- ・(委員) 令和4年度もデマンド交通の実証運行を継続するということろだが、登録者数利用者数などがその程度達成すればニーズがとれたと判断するのか、基準等があれば教えていただきたい。
- ・(事務局) 想定としては、仁賀地区が1便あたり平均で5人以上、吉名地区が1便あたり3人以上の運行を目指している。そこに向けては利用促進が必須であり、今後しっかりと取り組みたい。

- ・(会長) この協議案件につきましては、異議なしということによろしいでしょうか。
(異議なし)

3. その他

○意見交換

- ・(委員) 公共交通機関として、バス、タクシー、船と多種あるかと思うが、どの交通事業者についても、非常に厳しい状態がここ2年ほど続いている。そのような状況の中、当社では、広島県による利用促進策の一環として、利用者にとってお得な企画乗車券の販売を行っており、このような取組など活用しながら、市民の方にぜひ積極的に公共交通をご利用いただきたい。

4. 閉会